

フォト・エスノグラフィー研究会



2015年7月29日

14時00分～17時00分

大阪市立大学梅田サテライト107教室（大阪駅前第2ビル6階）

報告者：

岩谷洋史（国立民族学博物館）

「遺産」となる痕跡―別子銅山を事例としたフォト・エスノグラフィー

ケイン樹里安（大阪市立大学）

「担い手になる／である」ことから文化を視覚化する

石田佐恵子（大阪市立大学）

学生作品から見るフォト・エスノグラフィーの可能性

田原範子（四天王寺大学）

フィールドワークの授業におけるフォト・エスノグラフィーの可能性―学生の報告資料「郡山金魚資料館」より

コメンテーター：島村恭則（関西学院大学）、山中千恵（仁愛大学）

お問い合わせ：岩谷洋史 iwatani_hiro@mac.com